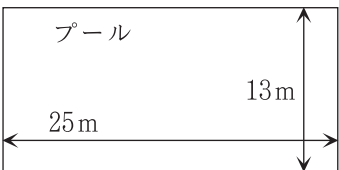
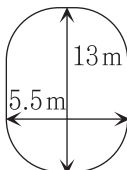


## その他のプログラム

プール活動	112
ライフセービング・ジュニアプログラム	113
火おこし体験	114
漁り火の集い	115
マリンキャンドルの集い	116
星の観察	117
バードウォッチング	117
磯節鑑賞（郷土の音楽）	117



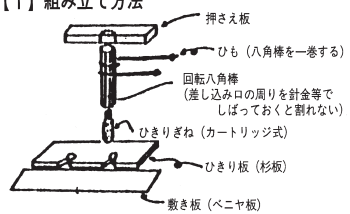

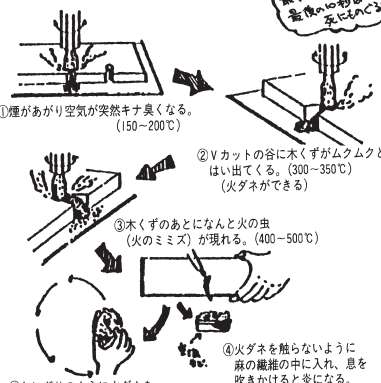
活動名	プー ル 活 動	活動可能人数	1 0 0 人	活動場所	温 水 プ ー ル
		集 合 場 所	プ ー ル 入 口	活動時間	2 時 間
ねらい	温水プールを利用して、楽しく活動しながら体を鍛える。				関連教科等
					体 育
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動可能時間 9:00～12:00 13:00～17:00</li> <li>年間を通じて利用可能（要相談）。</li> </ul>				

活 動 内 容 ・ 留 意 点		担 当	準 備 ・ 特 記 事 項
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">プール使用上の注意を聞く</div> ※10分 <ul style="list-style-type: none"> <li>プールサイドは走らない。</li> <li>プールにとび込まない。</li> <li>遊具を投げない。（ボール類を除く）</li> <li>浮き島（ウレタンボード）には立たない。飛び乗らない。</li> <li>浮き島（ウレタンボード）は重ねない。</li> </ul>	S T (A T)	<ul style="list-style-type: none"> <li>※下痢・発熱などの症状があるときは、プールの利用を差し控える。</li> <li>※バスタオル等は、衛生管理上、プール内には持ち込まないようにする。</li> </ul>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">活動開始</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動終了後、団体独自に活動を始め。</li> </ul> <p>☆プールにある道具類は自由に使用してよいが、最後にきちんと後片付けをする。</p> <p>[プールの大きさ]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>プール 25m × 13m 深さ 1.0～1.2m コース 6コース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小プール 5.5m × 13m 深さ 0.5～0.6m</p> </div> </div>	S T	<ul style="list-style-type: none"> <li>※水泳キャップを用意する。</li> <li>※S Tは1名以上入水する。</li> <li>※S Tはプールサイド等で監視し、活動者の安全を確保する。特に浮島はプールの中央で使うようにする。</li> <li>※体が冷えたときは、採暖室で暖をとるようにする。</li> </ul>
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">後片付け</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用した用具を所定の場所へ戻す。</li> <li>着替え終了後、忘れ物等の確認。</li> </ul>	S T (A T)	

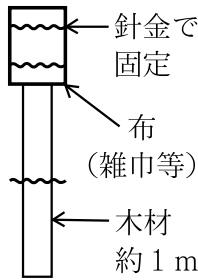
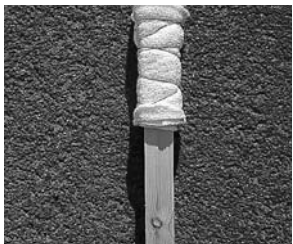
活動名	ライフセービング・ジュニアプログラム (7、8月は不可)	活動可能人数	40人	活動場所	温水プール
		集合場所	プール入口	活動時間	3時間
ねらい	ライフセービング・ジュニアプログラムを体験することにより、海との安全なかわり方や、危険から自分を守るために必要な知識と技能を学ぶ。				関連教科等
					特別活動 体育
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動可能時間 9:00～12:00 13:00～17:00</li> <li>講師のメンバー構成は大部分が学生なので、実施日の調整が必要。 〔計画を組む前に自然の家と要調整〕</li> <li>講師派遣には、謝金が必要。P120参照。</li> </ul>				

活動内容・留意点		担当	準備・特記事項
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">プール使用上の注意を聞く</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>プールサイドは走らない。</li> <li>プールにとび込まない。</li> <li>講師の指示に従って行動する。</li> </ul>	ST AT	《施設・講師準備》 <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイブリング</li> <li>ダイブボール</li> <li>ライフセービングボール</li> <li>レスキューチューブ</li> </ul>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">活動準備</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>講師紹介</li> <li>準備運動</li> </ul>	AT 講師 ST	※下痢・発熱などの症状があるときは、プールの利用を差し控える。  ※バスタオル等は、衛生管理上、プール内には、持ち込まないようにする。
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">活動開始</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフセービングについての説明を聞く。 (水や海の危険性と安全な遊び方等について)</li> <li>実習               <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>潜水などを取り入れたゲーム</li> <li>チューブを使ってのレスキュー体験</li> <li>ライフセービングボール投げ 等</li> </ul> </div> </li> <li>ライフセービングについてまとめをする。</li> </ul>	講師 ST AT	※水泳キャップを用意する。  ・人数によりいくつかの班に分ける。  ※班別活動時には、STがプールサイド等で監視し、参加者の安全を確保する。
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">後片付けとお礼のあいさつ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>講師へのお礼のあいさつをする。</li> <li>使用した用具を所定の場所へ戻す。</li> <li>着替え終了後、忘れ物等の確認をする。</li> <li>STは、講師に謝金を支払う。(スタッフ室)</li> </ul>	ST  AT	※用具を使用しての活動時には、特に周囲の安全に注意させる。



活動名	火おこし体験	活動可能人数	80人	活動場所	イベント広場
		集合場所	イベント広場	活動時間	1時間30分
ねらい	昔からの火のおこし方法を知り、原始的な火おこし道具を用いて火おこし体験をする。				関連教科等
					社会総合的な学習の時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>火おこし道具は、1セットで5名程度活動可能。</li> <li>野外調理や塩づくり等の活動と組み合わせて実施可能。</li> </ul>				

活動内容・留意点		担当	準備・特記事項
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">道具の準備</div> ※5分 物品発注依頼書で発注できるもの（持参可） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ・火おこし道具           </div> 価格については → ・物品価格一覧参照(P125) ※火おこし以外に、野外調理・塩づくり等を合わせて実施する場合は、食材料・薪などを発注する。 ・発注物品を、スタッフ室から活動場所に運ぶ。	AT ST	《施設準備》・新聞紙・ペンチ ・割れ止め用リング ・泡立て器・救急バッグ 《団体準備》・軍手 ・火おこし道具 （発注可・ひもぎり式） 〈火おこしの方法〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> <b>「ひもぎり式」による 火のおこし方</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>【火おこしセット】</b>              ・ヒキリ板(杉)……………1枚              ・敷き板(ベニヤ)……………1枚              ・ヒキリギネ(ワツギ)…3個              ・回転八角棒……………1本              ・ひも……………1本              ・麻 織 繩……………1袋              ・押さえ板……………1個           </div>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">火おこしの説明を聞く</div> ※10分 ※STからの要望があればATが説明する。 ・火おこし道具の種類（弓ぎり・まいぎり・ひもぎり式の方法等） ・火おこしの仕方について	ST (AT)	<b>【1】組み立て方法</b>  <b>【2】姿勢</b> ・ひきり板が動かないように2人で両側からしっかりと足で踏む。 ・ひざを支点として押さえ板がゆれないようにする。(押さえ過ぎると回転しない) 
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">活動開始</div> ・火おこし道具の組み立て ・火おこしの役割分担 押さえ板をおさえる係 ひもを引く係	ST	<b>【3】火がおきるまでの順序</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> <b>（操作のツツ） 最初の火は、 最後のもつは 左にもついで!</b> </div>  ①煙が上がり空気が突然キナ臭くなる。(150-200℃) ②Vカットの谷に木くずがムクムクとはい出てくる。(300-350℃) (火ダネができる) ③木くずのあとになんと火の虫(火のミミズ)が現れる。(400-500℃) ④火ダネを触らないように麻の織繩の中に入れ、息を吹きかけると炎になる。
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">後片付け</div> ・使用した用具を所定の場所へ戻す。	ST AT	④おにぎりのように火ダネをくるんでまわしてもよい。 (参考文献)「原始生活百科」関根秀樹編著、創和出版

活動名	漁り火の集い	活動可能人数	200人	活動場所	イベント広場
		集合場所	イベント広場	活動時間	2時間
ねらい	明かりを囲んでの楽しい活動を通して、仲間との交友を深める。				関連教科等 特別活動・総合的な学習の時間
備考	・集合場所及び活動場所は、多目的広場になる場合もある。				

活動内容・留意点		担当	準備・特記事項
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>用具の準備</b> ※約30分         </div> <p>※STはATと事前打ち合わせを行い、準備について確認をする。 ◇物品発注依頼書で発注できるもの（持参可）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーチ</li> <li>・漁り火用薪</li> </ul> </div> <p style="margin-left: 20px;">価格については 物品価格一覧資料参照(P125)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。</li> <li>・所定の場所から漁り火用台を運び出す。</li> </ul>	ST (AT)	<p>《施設準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁り火用台</li> <li>・営火長用衣装（船長服）</li> <li>・灯油</li> <li>・ラジカセ</li> <li>・マイク</li> <li>・救急バッグ</li> <li>・着火ライター</li> </ul> <p>《団体準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーチ（発注可）</li> </ul>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>活動開始</b> </div> <p>〔展開例〕</p> <p>第1部（儀式）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①入場、整列（漁り火用台を中心に円を作る）</li> <li>②はじめのことば（進行）</li> <li>③歌「遠き山に日は落ちて」（1番－歌詞、2番－ハミング）</li> <li>④営火長入場（ハミングになったら営火長が入場）</li> <li>⑤営火長のことば             <ul style="list-style-type: none"> <li>・火に関する話や活動の意欲付けになる話など。</li> </ul> </li> <li>⑥分火             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに誓いの言葉などを述べさせてもよい。</li> </ul> </li> <li>⑦点火</li> <li>⑧歌（「燃えろよ燃えろ」など）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・火をたたえる意味を込めて元気に歌える歌を選ぶ。</li> </ul> </li> </ol> <p>第2部（ゲーム）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑨歌やゲーム、スタンプなどのレクリエーション。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・なごやかな楽しい集いになるように進行していく。</li> <li>・時間と安全の両面から、火の勢いを調整する。</li> <li>（・漁り火用台がじゃまになる場合には移動する。）</li> </ul> </li> </ol> <p>第3部（儀式）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑩一日の振り返り（静かに火を見つめる）</li> <li>⑪営火長のことば             <ul style="list-style-type: none"> <li>・感動をより印象づけるような話をする。</li> </ul> </li> <li>⑫歌（「今日の日はさようなら」など）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな曲を選び、2番以降はハミングでもよい。</li> </ul> </li> </ol>	ST	<p>◎トーチ作製例</p>  <p style="text-align: center;">〈トーチ〉</p> 
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>後片付け</b> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>①火を消す。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・薪は完全に燃やし、残炭を少なくする。</li> <li>・水を入れた一輪車に残炭を浸し、完全に消火する。</li> </ul> </li> <li>②残炭はほうきできれいに取り、一輪車で残炭捨て場に運ぶ。 ※ほうきは、水に浸して使用する。</li> <li>③漁り火用台は、翌朝所定の場所に戻す。</li> <li>④活動終了後、残炭捨て場の状況確認をする。</li> </ol>	ST AT	<p>※ねらいに迫ることができれば展開例にこだわる必要はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちり取り</li> <li>・ほうき</li> <li>・火ばさみ</li> <li>・一輪車</li> </ul>

活動名	マリンキャンドルの集い	活動可能人数	200人	活動場所	スポーツ館
		集合場所	スポーツ館	活動時間	2時間
ねらい	明かりを囲んでの楽しい活動を通して、仲間との交友を深める。				関連教科等 特別活動・総合的な学習の時間
備考	・火の代わりに光るブレスレットなどを利用し、屋内で「蛍火の集い」を実施することも可能である。				

活動内容・留意点		担当	準備・特記事項		
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">用具の準備</div> ※約30分 ※STはチェックイン担当者と事前打ち合わせを行い、準備について確認をする。 ◇物品発注依頼書で発注できるもの（持参可） <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそく（7.5号）</li> <li>・光るブレスレット</li> </ul> </td> <td style="padding-left: 10px;">           価格については            物品価格一覧資料参照(P125)         </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。</li> <li>・所定の場所から燭台を運び出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそく（7.5号）</li> <li>・光るブレスレット</li> </ul>	価格については 物品価格一覧資料参照(P125)	ST (AT)	《施設準備》 ・燭台 ・手持ちろうそく台 ・営火長用ろうそく台とろうそく（50号）1組 ・ブルーシート ・営火長用衣装（船長服） ・ラジカセ ・マイク
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそく（7.5号）</li> <li>・光るブレスレット</li> </ul>	価格については 物品価格一覧資料参照(P125)				
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">活動開始</div> 〔展開例〕 第1部（儀式） ①入場、整列（燭台を中心に円を作る） ②はじめのことば（進行） ③歌「遠き山に日は落ちて」（1番—歌詞、2番—ハミング） ④営火長入場（ハミングになったら営火長が入場） ⑤営火長のことば ・火に関する話や活動の意欲付けになる話など。 ⑥分火 ・子どもに誓いの言葉などを述べさせてもよい。 ⑦点火 ⑧歌（「燃えろよ燃えろ」など） ・火をたたえる意味を込めて元気に歌える歌を選ぶ。 第2部（ゲーム） ⑨歌やゲーム、スタンプなどのレクリエーション。 ・なごやかな楽しい集いになるように進行していく。 ・安全面から、ろうそくの火は消す。 ・第3部が始まる前に再点火する。 第3部（儀式） ⑩一日の振り返り（静かに火を見つめる） ⑪営火長のことば ・感動をより印象づけるような話をする。 ⑫歌（「今日の日はさようなら」など） ・静かな曲を選び、2番以降はハミングでもよい。	ST	《団体準備》 ・ろうそく7.5号（発注可） ・マッチ（発注可）  <燭台>   <手持ちろうそく台> 		
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">後片付け</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燭台、ろうそく台、ブルーシートは、スポーツ館内の器具庫2に収納する。</li> <li>・残ったろうそくは、持ち帰る。</li> </ul>	ST  AT	※ねらいに迫ることができれば展開例にこだわる必要はない。		

活動名	星の観察 (秋から冬が適)	活動可能人数	100人	活動場所	メイン広場
		集合場所	メイン広場	活動時間	1～2時間
ねらい	星座や月・惑星を観察し、宇宙の大きさ・神秘について考える。				関連教科等 理科・ 総合的な学習の時間
備考留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STの指導のもとで行う。</li> <li>・事前に観察できる星座や惑星などを調べておく。</li> <li>・寒い時期は暖かい服装で活動する。</li> <li>・双眼鏡(14) ・星座早見盤(45)は、貸出可。</li> <li>・望遠鏡は学校、専門団体のみ貸出可。</li> </ul>				

活動名	バードウォッチング (通年～季節により種類は異なる)	活動可能人数	何人でも可だが、小グループの方がよい	活動場所	玉田海岸 自然の家周辺
		集合場所	イベント広場等	活動時間	2～5時間
ねらい	海岸にすむ野鳥を観察することにより、海岸の自然のすばらしさや自然のしくみを知る。				関連教科等 理科・ 総合的な学習の時間
備考留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STの指導のもとで行う。</li> <li>・フィールドスコープや双眼鏡、野鳥図鑑等は、貸出可。</li> <li>・海岸の波打ち際には、食物をついばむシギやチドリの仲間がよく観察できる。</li> <li>・大声を出したり、石を投げたりするなどして、鳥を驚かせることのないようにする。</li> </ul>				

活動名	磯節鑑賞 (郷土の音楽)	活動可能人数	120人程度	活動場所	視聴覚室
		集合場所	視聴覚室	活動時間	2時間
ねらい	茨城県の磯節など、郷土に伝わる民謡を鑑賞したり、歌や踊りなどの体験をしたりして楽しむ。				関連教科等 音楽 総合的な学習の時間
備考留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元だけでなく全国的にも有名な講師による、本格的な演奏演舞である。 〔計画を組む前に自然の家と要調整〕</li> <li>・講師は昼間勤務や学校があるので、活動時間帯は19:00以降となる。</li> <li>・講師派遣には、謝金と講師弁当代が必要。P120参照。</li> <li>・希望があれば、踊りや歌、太鼓の体験ができる。また、団体で民謡や太鼓などを行っている場合には、交換会も可能である。</li> </ul>				